

| 科目名 | 音楽Ⅱ | | 学年・必修 | 2年 | 選択 | 使用教科書 | 『MOUSA 2』教育芸術社 | | | |
|-------------|---|--|--|--|---|-----------------|--|---|--|---|
| | | | 単位数 | 2 | | 使用副教材 | 『New Recorder Library Basic Lesson & Ensemble』教育出版 | | | |
| 学習目標 | <p>音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p> | | | | | | | | | |
| 学習方法 | <p>初回の授業に示す「授業のルール」を守り、積極的に音楽の活動に取り組んでください。</p> <p>楽譜、ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイルを必ず用意してください。</p> <p>音楽室にある机や椅子、リコーダー等の楽器や備品などの取り扱いには、十分注意をしてください。</p> <p>授業に使用する持ち物を忘れた場合は、必ず朝のうちに申し出るようにしてください。授業開始直前・授業中では対応できません。</p> <p>この科目では、歌唱や楽器の演奏演技だけでなく、思いや意図を持って表現する力を伸ばします。音楽経験等によって得意不得意はあると思いますが、感じたことや考えたことを積極的に文章や発言で表現しましょう。</p> | | | | | | | | | |
| 学習評価 | 学習評価 | | | 評価方法 | | | | | | |
| | 評価の観点 | | 科目の評価の観点の趣旨 | 評価方法 | | 割合(%) | | | | |
| | a | 音楽への関心・意欲・態度 | 音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、楽器、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 | 1 | 学習活動の観察 | 学習活動の取り組みの様子や発言 | 25 | | | |
| | b | 音楽表現の創意工夫 | 音楽を形づけている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、歌唱、楽器、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 | 2 | ワークシート | ワークシートの記述内容 | 25 | | | |
| | c | 音楽表現の技能 | 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、楽器、創作の技能を身に付け、創造的に表している。 | 3 | 演奏・作品発表 | 演奏発表や創作作品の発表 | 25 | | | |
| d | 鑑賞の能力 | 音楽を形づけている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 | 4 | テスト | 演技テスト(歌唱と楽器)および筆記テスト | 25 | | | | |
| 教材種別との関係性 | 体験する場(教材) | | 関連する教材・科目 | | 教科書以外の教材や関連する学習活動の例(基礎知識を行う場合はその内容) | | | | | |
| | <p>これでええんか? ～令和の「奥尻はいま」を創ろう～</p> | | 現代文B | | <p>奥尻を題材にした演歌の歌詞を考えるにあたって、言語活動の観点から、以下の内容について関連性を持たせる。</p> <p>○ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をたずねて、目的に応じた表現の仕方を選んだり創造的な活動を行ったりすること。</p> | | | | | |
| 学期 | 月 | 題材名 | 担当 時間 | 学習の目標・ねらい | 学習評価 | | 学習内容と学習のポイント | Okushiriety 5.0 | | |
| 前期 | 4 | オリエンテーション | 1 | 音楽Ⅱの目標や内容を確認し、1年間の学習の見通しを持つとともに、学習意欲を養う。 | ○ | | 音楽Ⅱでの学習内容や学習方法について確認し、今年度の学習の見通しを待ちましょう。 | 学びに向かう姿勢 | | |
| | | 日本の「心」を歌う | 5 | 曲想や強弱を歌詞の内容とかかわらせて理解し、表現を工夫しながら、グループごとに斉唱または二重唱をする。 | ○ 1 2 | ○ 2 | ○ 1 3 | 明治から平成までの「日本歌曲」を歴史とともに学び、歌詞に込められた思いを歌に乗せて表現します。 | 感受性 | |
| | 5 | Coffee Break -Let's Play Cup Music- | 6 | 紙コップを使った音楽の音色の変化や音の異なる方の違いによる曲想の変化がどのような奏法などからきているのかを解明しながら、アンサンブルをする。 | ○ 1 2 | ○ 2 | ○ 1 3 | ○ 2 | 「カップ」を使って音色を探究しながら、リズム・アンサンブルを創ります。 | チーム力 |
| | 6 | ROCKIN'ON! ～FM Okushiri POWER PLAY～ | 5 | 様々な時代のロックの曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解し、音楽表現の共通性や固有性について考え、それぞれの音楽のよさや美しさを味わう。 | ○ 1 2 | | | ○ 2 | ロックの音楽的特徴や社会との関わりについて学習したことをもとに、任意のロックの作品を取り上げて、その魅力や聴きどころなどを盛り込んだラジオ番組を制作します。 | 発信力 |
| | 6 ～ 7 | これでええんか? ～令和の「奥尻はいま」を創ろう～ | 7 | 演歌の特徴的な音階と場法に関心をもち、演歌らしい表現方法を工夫しながら、奥尻の演歌を創作する。 | ○ 1 2 | ○ 2 | ○ 1 3 | ○ 2 | 「演歌」のルーツや特徴を探り、奥尻をイメージした演歌のメロディを創ります。 | 発信力 |
| | 7 ～ 8 | バレエノセカイ | 4 | バレエ音楽を場面ごとの特徴を捉えながら味わい、踊りとともに言葉や心情を伝える「マイム」に注目しながら、音楽との一体感を感じ取り、根拠をもって批評する。 | ○ 1 2 | | | ○ 2 | 名作バレエを鑑賞しながら、音楽と踊りとの関わりについて考え、バレエ音楽の特徴や魅力についてまとめます。 | 感情コントロール力 |
| | 8 | めざせ！リコーダーマスター！▼ 2nd Season | 6 | リコーダーの基礎的な奏法を学習し、音色や奏法の特徴を感知しながら、曲想にあった音楽表現を工夫して演奏する。 | ○ 1 2 | ○ 2 | ○ 1 4 | | 自分のレベルに合わせた課題にリコーダーに取り組みながら、身に付けた奏法を生かして演奏します。 | プランニング能力 |
| | 9 | ココロツナガル★トーンチャイム | 6 | 各パートの役割を意識し、表現を工夫してトーンチャイムによるアンサンブルの喜びを味わう。 | ○ 1 2 | ○ 2 | ○ 1 3 | | それぞれの役割を意識しながら、整ったリズムと美しい音色を目指してトーンチャイムによる合奏に挑戦します。 | 傾聴力 |
| | 後期 | 10 | Video Game Music Creation | 7 | ゲーム音楽の表現の特徴や効果について考え、任意のゲームの場面や世界観に合わせてBGMを創作する。 | ○ 1 2 | | | ○ 2 | 身近なゲーム音楽を鑑賞することを通して、その効果やプレイヤーへのメッセージ性について考えます。サウンド・クリエイターの工夫や意図にも触れて、創作に挑戦します。 |
| 11 | | oQo Guitar Ensemble | 6 | クラシック・ギターの基礎的な奏法を学習し、音色や奏法の特徴を生かしながら、曲想にあった音楽表現を工夫して演奏する。 | ○ 1 2 | ○ 2 | ○ 1 4 | | ギターの音色や奏法を研究し、曲のイメージを意識しながら演奏します。 | チャレンジ精神 |
| 12 | | VOCALIST ～カバリアーティストへの道～ | 6 | 音楽の「カバリア」の多様性について考え、各人のスタイルを追求し、表現意図を明確にもって歌う。 | ○ 1 2 | ○ 2 | ○ 1 3 | | 「カバリア」の多様性について学び、それぞれのスタイルについて追求しながら歌います。 | 思考・判断・表現力 |
| 1 | | あなたの知らない「音楽」の世界 | 5 | 現代の音楽のルーツとなる音楽の歴史を学び、身近な音楽との関わりについて考えながら聴いて、各時代の特徴を考える。 | ○ 1 2 | | | ○ 2 | 各時代の西洋音楽について、鑑賞を通して社会とのつながりや音楽表現の共通性、固有性について考えます。 | 感受性 |
| 2 ～ 3 | | LATIN STYLE ～ラテン音楽の作法を学ぶ～ | 6 | ラテン音楽の特徴を感じ取り、パートの役割を考えながらリズムのアンサンブルをする。 | ○ 1 2 | ○ 2 | ○ 1 3 | ○ 2 | ラテン音楽のスタイルを学び、特徴的なリズムによってアンサンブルに挑戦します。 | コミュニケーション能力 |